



RI 第 2 6 1 0 地区 井波庄川ロータリークラブ会報

2008-09 年度 No.23 12 月 17 日発行

事務局 〒932-0211 富山県砺波市庄川町示野 121 リプロ内

TEL&FAX 0763-82-4318、inashore@athena.ocn.ne.jp

2008-09 年度 会長 小西 勝、幹事 高瀬 顕正

2008-09 年度 RI テーマ



「夢をかたちに」

(李東建会長)

① 例 会 記 録



② 特集「ロータリーよ どこへ行く」V

①第 1453 回夜間例会

平成 20 年 12 月 10 日(水) 井波文化センター

1. 点鐘 小西会長
2. ソング「奉仕の理想」
3. ビジター卓話：キラン・マフィーさん（井波中 ALT）
4. 会長の時間…「河合副会長の見舞いに、旧富山医薬大まで行ってきました。すこぶる元気でした。月曜にカテーテルを入れて処置をする予定とっておられました。年末で、医薬大は大変混雑していました。忘年

会など続きます。皆さん、健康に注意を！私は、先日、インフルエンザの予防接種をしてきました。亡新年会を乗り切るためにも……。話は変わりますが、この季節、街でのイルミネーションが綺麗です。特に例を挙げれば、砺波高校周辺の、それも民家の灯は大変素晴らしいです。一見の価値があります。」

5. 幹事報告…「①次週は、普通例会で、C.A.「30 周年記念事業について」をテーマに行います。②12 月 25 日クリスマス家族例会は、金沢・森本の『ぶどうの

木』ですが、庄川を 17:00 に出発します。③次に、年明けて、1月7日、新年会は、『三楽園』で、はじめに 18:00 から例会をします。④話は、変わりますが、事務局の真田さんが、熱を出して休むということで、少し早めに文化センターへきて準備をしようと、会場のエイトホールを空けてくれといったら、まだ時間が来てないからと、開けてもらえませんでした。もし開けるなら、午前中の使用料をもらうと言われ、何を考えているのかと、一悶着起こしました。南砺市全体の施設の管理が、このように厳しくなった所為か、今まで無料であったロータリークラブの使用料も有料になり、ひるの1時間しか実質使わないのに、午前と午後にかかるということで、日中1日分を払うことになっているのだそうで、何とかしてもらわねばならないのでは・・・。」

6. 委員会報告…①国際奉仕委員会:三角委員長「今年も、書き損じハガキを集めます。来年1～2月頃に皆さんにお願いすると思います。」②その他の報告:山本会員「先日の砺波 RC 主催の、薬師寺管主、安田暎胤師の『まほろばを求めて』の講演は大変素晴らしかったです。著書を買ってきましたので、希望の方に貸し出します。③出席委員会(代理):24名中13名出席(出席免除者8名中5名出席)・・・出席率 61.90%

7. ニコニコ BOX(高瀬 SAA 代理:本日2名 4,000 円)

三角会員:結婚祝をありがとうございました。

山本会員:キランさん、ようこそ。本日は、歯科医師会
の忘年会があり、早退します。

(12月計 12,000 円:年度累計 203,000 円)

卓話「無題」 キラン・マフィーさん (井波中 ALT)

紹介者…三谷会員:本日は井波中学校の ALT (英語教育指導助手) のキラン・マフィーさんに卓話をお願いしました。全然面識はなかったのですが、先ほどから食事をされているのを見ると、前後の合掌しての挨拶や、箸の使い方など、大変日本的で、聞くところによると、刺身は好物だそうです。それでは、よろしくお願いします。

キラン・マフィーさん: 皆さん、今晚は。私は、

井波中学校で、英語を教えています。出身は、オー



ストラリアで、ブリスベンとそこから 800 km 離れたチャーリービルに住んでいました。家族は、家内のリサと、タフィとブリルの二人の男の子がいます。高瀬のサンコーポラスに住んでいます。

家内は、京都大学を卒業し、ECC で、英会話を教えています。2人の子供は、福野青葉幼稚園に通園していますが、二人とも日本語はぺらぺらです。



高瀬神社に行って、七五三の記念写真を撮りましたが、大変気に入っています。(以下略:要旨は福嶋会員)

【編集後記】

今回の卓話は、井波中学校の ALT のキランさんでした。いつも娘達が英語を習っています。まだ、日本語はたどたどしいですが、写真をいくつか見せながらの話でした。小生は、途中退席しましたが、幹事の高瀬先生は高校の英語の先生でしたので、通訳をしていただき、大変わかりやすい卓話となりました。井波庄川ロータリークラブも、海外からのお客様にも、充分対応できるクラブです。

(山本武夫)

シリーズVI 『メタボリック・クラブ』

一年ほど前、クラブ例会の委員会報告の中で、地区の委員会に出席したクラブ委員長が、その席で井波庄川ロータリークラブを「瑕疵クラブ」呼ばわりされて憤慨されたという報告があった。

「瑕疵」とは、「きず」とか「欠点」という意味を持ち、決していい言葉ではない。

Good Standing を「瑕疵なき」と日本語に訳した善し悪しは別として、この呼び方はずっと以前から R.I.の定款・細則の中で、クラブや会員に関して用いられてきた言葉である。この文言の意味は、ロータリーのすべての義務を常に忠実に果たしているロータリアンおよびロータリークラブを指した言葉である。

しかし近年、会員数の少ないクラブ、特に 20 名以下の少数クラブを「瑕疵クラブ」と呼ばれているようだが、これは何の根拠もないことである。恐らく新クラブを設立の際には 20 名以上の創立会員が必要なことから、このような解釈が生まれたものと推測される。

以前は、今で言う「瑕疵クラブ」は「少数クラブ」とか「弱小クラブ」という呼び方をしていた「瑕疵クラブ」などという言葉は聞いたこともなかった。いやしくも見識と分別を持ちマナーをわかまえている筈のロータリアンが、公式の席で言うべき言葉でないことだけは確かである。

平均クラブ会員数を見てみると、全世界では 37 人、日本では 43 人、地区では 44 人強となっている。20 人以下のクラブは、地区内には、5 クラブあり、滑川ロータリークラブはわずか 8 名のメンバーで頑張っているのを見ていると全く頭が下がる思いがする。

このようなクラブを「瑕疵クラブ」と平均して言うような会員が所属するクラブは一体どんなクラブだろうか。

勝手な創造だが、会員数は 50 名を超える都市型クラブ、本社の決済がなければ入会できない転勤族会員が多くを占め、企業の大きさや役職地位で序列が決まり、会員の中に必ず何人かの長老がいて睨みをきかし、何をするにも彼らにお伺いを立てなければ決まらない。なにかにつけてクラブの歴史や伝統を持ち出し、それが足枷となって小廻りが効かない。そんなクラブにぴったりの今流の呼び名がある。

それは「メタボリック・クラブ」

グルメ嗜好とアルコールの食習慣、身体を動かすことと言え月数回のゴルフ位のもの、内臓脂肪で膨れ上がった体型など。血圧、血糖、コレステロール、中性脂肪、これは全て体重に比例する。健康的で良いからだはスリムな体を言う。クラブもまた然り。わがクラブが「ウドの大木」ではなく、小粒でもピリリと辛い「山椒」クラブであることをわれわれは誇りとしたい。